

「興讓の精神」を胸に

このたび、たくさんの方々に支えられていることに気づきました。一番の味方でいてくれた家族、尊敬できる先生方、生涯の友に感謝の気持ちでいっぱいです。これからの人生を歩んでいく時「興讓の精神」を忘れることのないよう、大切に心に留めておきたいと思えます。三年間、お世話になりました。この学校の生徒であったことを心から誇りに思います。



門出の言葉

卒業生代表 井上 朔美
(赤湯中出身)

入学式に始まり、応援練習、体育祭、興讓祭など三年間でたくさん思い出を作ることができました。何気ない日々の生活ですら愛おしい、大切な一面です。高校生活を送る中で、多くの方々に支えられていることに気づきました。一番の味方でいてくれた家族、尊敬できる先生方、生涯の友に感謝の気持ちでいっぱいです。



興讓館だより
 Yonezawa Kojokan High School
 平成29年3月28日発行
 第38号 山形県立
米沢興讓館高等学校
 〒992-1443
 山形県米沢市大字笹野1101
 TEL 0238-38-4741
 FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

はなむけの言葉

三年生のみなさんへ

在校生代表 榎本 萌衣
(米沢二中出身)

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。部活動や委員会活動から日常生活に至るまで、先輩方は様々なことを私たちに教えてくださいました。入学してからここまで私たちが成長することが出来たのは、先輩方の導きがあったからこそです。本当にありがとうございました。これから自らが選んだ道を自らの手で切り拓いていく先輩方を在校生一同、心から応援しています。これから辛いことがあるとは思いますが、そのようなときは「興讓の精神」を思い出してください。きつとどんな時にも先輩方の行く先を明るく照らしてくれるはずです。私たちも先輩方の後に続けるよう、精一杯頑張っていきます。今まで本当にありがとうございました。先輩方の前途が輝かしいものとなることをお祈りします。



1月
17日

予 饞 会



予饞会を通して

二年四組 島津英臣
(高皇一中出身)

予饞会といえは先輩方を見送るための一つの区切りです。その予饞会を成功させるために、私は積極的に準備に関わりました。私はホームルーム委員など特に大きな役職には就いていませんでしたが、動画の内容の立案・撮影などに積極的に関わりました。良いアイデアが浮かばずに悩んだ時もありましたが、クラスメイトに助けをもらい、最終的に良い作品を作り上げることができました。先輩方を応援するという目標に向かってクラス一丸となつて一つの事に取り組むことは非常に有意義であったと思います。二次試験を控えた三年生の皆さんにとつても有意義であったのなら幸いです。先輩方、これまで本当にありがとうございました。

充実していた

センター激励会

三年四組 市川彩乃
(高皇四中出身)

センター試験の前日に、激励会が行われました。緊張した表情で決意を述べる仲間の姿を見て、いよいよだなと自身の決意も固まりました。そして、個性豊かな先生方からの愛情と思いやりに満ちた激励に、不安や緊張も吹き飛ばされました。これから、夢の実現に向かって別々の道を歩みますが、どんな時も努力を惜しまず、支えてくださった方々に少しでも恩返しができるよう頑張っていきたいと思えます。



1月
13日
センター試験 激励会

科学の甲子園全国大会に向けて

2年2組 昆 千裕 (川西中出身)

私たちは、3月17日から20日につくば市で開催される、科学の甲子園全国大会に出場します。昨年10月に行われた山形県大会では、三連覇を果たすことができました。競技は筆記や実技がありました。県大会後は理科の先生や山形大学の教授の方々の協力のもと、ロボットを作ったり実験の技術を学んだりしています。本番では、全国から集まるレベルの高いチームと戦えることを楽しみにしています。昨年に続く良い結果を残せるよう、精一杯頑張ります。応援よろしくをお願いします。



東日本大会に向けて

2年3組 太田 優里 (米沢二中出身)

私たち女子弓道部は、県高校総体で一人ひとりの力を発揮することができ、団体準優勝で3月に行われる東日本大会の出場権を手に入れることができました。

東日本大会では、出場できない仲間の思いを胸に、そしていつも支えてくださる多くの方々への感謝を忘れず、自分たちの射が出来るよう、力を出し切ってきます。また、山形県に帰ってくるまで「興譲の精神」をひと時も忘れず、興譲館生として恥じない姿を周囲の人に見せたいと思っています。



全国高校選抜卓球大会に向けて

2年3組 片桐 圭紀 (米沢二中出身)

県新人戦で代表決定戦を勝ち上がり、3月に大阪市で開催される全国選抜卓球大会に出場することが決まりました。このような結果を出せたのも支えてくださった皆様のおかげです。本当に感謝しています。私が出場する男子シングルスは自分と同等以上の実力を持った選手と対戦することになるので、自分に自信を持って一戦一戦を大切に勝ち進むことができるようにしていきます。また、山形県に帰ってくるまで「興譲の精神」をひと時も忘れず、興譲館生として恥じない姿を周囲の人に見せたいと思っています。



部活動の記録

運動部

【上級大会 ~新人大会~】

- * 弓道部女子：東日本高等学校弓道大会出場(県新人大会準優勝により出場権獲得)
- * 陸上競技：女子100m 4×100mR 東北大会出場
- * 水泳：女子50m自由形 東北大会出場
- * ホッケー：女子 東北高等学校選抜ホッケー大会 第3位

- * 卓球：男子シングルス 全国高等学校選抜卓球大会出場
- * フェンシング：女子団体フルレール 女子団体エペ 全国高等学校選抜フェンシング大会出場
- * スキー：女子アルペン 全国高等学校選抜スキー大会出場
- 【その他上級大会】
- * フェンシング 女子フルレール ジュニアワールドカップルーマニア大会出場

文化・生産系部活動

○吹奏楽研究クラブ

全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選会 フルート三重奏・木管三重奏：金賞 金管八重奏：銀賞
全日本アンサンブルコンテスト山形県大会 フルート三重奏：銀賞 木管三重奏：銅賞

○コアスーパーサイエンスクラブ

山形県サイエンスフォーラム兼高等学校文化連盟科学専門部全国大会予選会
最優秀賞「生体を模倣した神経幹細胞の培養」
優秀賞「焼成温度・時間における米粉パンの製パン性」
優良賞「環境の異なる2つのアミノ基を有するスルホホルアニリン型蛍光色素の合成と物性評価」
「透明骨格標本を用いた骨格変異の研究」

高校生バイオサミット2016in鶴岡 出場
サイエンスキャッスル2016東北大会 出場
宇宙エレベーター全国大会 出場

東北大学飛翔型「科学者の卵養成講座」研究発展コースⅡ
優秀賞「透明骨格標本を用いた骨格変異の研究」

○調理科学

第7回鶴山りんごスイーツコンテスト 準グランプリ「AUTUMN HARMONY」
特別賞「花咲くりんごケーキ」 入賞「ふわっとりんごのムース」

○新聞・文芸

第31回全国高等学校文芸コンクール小説部門 入選1名

○その他

第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 山形県審査最優秀・全国審査入選
第36回全国高校生読書体験記コンクール 中央選考委員会全国審査優良賞
全国高等学校書評合戦2016ビブリオバトル 東北大会優勝・決勝大会出場

興譲館だより37号以後から2月末までに開催された大会等の結果になります。(誤解を避けるために興譲館だより37号と内容が重複している部分があります。)



スキー授業

上杉雪灯籠まつり



雪灯籠製作をして

一年二組 小関 隼矢
(沖郷中出身)

私たち陸上競技部は昨年に引き続き、一年生を中心に雪灯籠まつりに参加しました。天候の悪い日もあり厳しい条件下での作業となりましたが、部員同士で協力し、納得のいく灯籠を作り上げることができました。私は初めての参加だったので、この活動を通して日ごろあまり関わりのない地域文化に触れ、自分の見地を広げることができました。暗闇に光る雪灯籠のように、いかなる状況でも自分の持ち味を発揮できるように生活していきたいと思えます。

SSH台湾海外研修



SSH台湾海外研修概要

2/15(水)	移動
2/16(木)	国立台湾師範大学附属高級中学 課題研究発表 英語を用いた相互の課題研究発表・質疑応答 ランチミーティング 授業体験（英語や自然科学領域等の授業） 台北101見学 現地建築工学研究者等による施設説明と見学
2/17(金)	清華大学 先進的な研究施設の見学 体験的・化学実験講座 現地大学院生との英語によるランチミーティング 工業技術研究院 ITRI訪問 研究員による英語での施設・研究内容の説明 質疑応答
2/18(土)	移動

台湾研修を通して感じたこと

二年一組 村田 陽 香（米沢一中出身）

私は以前、自分の英語力やコミュニケーション力への自信の無さから、海外旅行に対する漠然とした不安を抱いていました。しかし、姉妹校である附中や清華大での交流で、対話の際に誠意をもって接することで会話が成り立ち、自信ができました。しかし、専門的な話など込み入った話をする際に、その表現をできないことに悔しさを感じる場面が何度かありました。

また、添乗員の方が日本語が堪能で、その方がおっしゃるには、学生の頃に習得した言葉のおかげで沢山の人と交流することができていたようです。第二言語の習得が多方面で自分の可能性を広げられる事に気づき、習得への意欲が湧きました。

今回の研修を通して学んだことを糧に、将来グローバルに活躍するためにも、学業に励んでいきたいと思えます。

東北サイエンスコミュニティ研究発表会

フュージョン・サイエンスの活動を通して

一年三組 黒 金 仰 太（米沢一中出身）



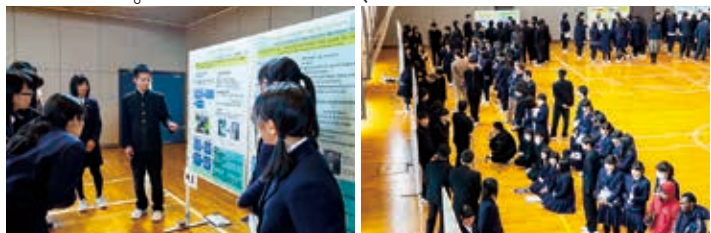
発表を終えて

二年一組 渡 邊 千 紗（高島四中出身）

私たちは家庭科ウコギ班は中間発表を経て東北大会にポスター発表で参加しました。できる限り多くの方々に発表を聞いていただきたいと考えた私たちは、様々な工夫を凝らしました。その結果、高校生の注目を最も集めたということで「グッドジョブ賞」という賞を受賞しました。発表の際には、様々な助言や鋭い質問をいただき本当に有意義な時間となりました。また、他の学校の発表の仕方、ポスターの作り方を見せていただき、たくさん刺激を受けました。東北大会のレベルの高さも実感しました。

今回の発表で得た経験を生かし、これからさらにこの研究を発展させていきたいと思えます。

私はF.Sの活動で「人間生活と科学」の分野について学びました。その学んできたことの中から、「最上川を守るために…」というポスター名で発表しました。内容は、吾妻山から流れる有毒な水の処理や、印刷から出る廃水の削減の仕方でした。学習を振り返ると、私たちが安全に暮らすために様々な努力があるのだとわかりました。そして、環境について改めて考えることができました。環境問題を科学で解決するというのは素晴らしいことだと思えます。今回の活動を通して、まだまだ自分の学びが浅いということを実感しました。講義で学んできたことを生かし、それを更に自分自身の考えと比較しながら、より探究心を深めていきたいと思えます。



SSH校内生徒研究発表会

城戸淳二塾専門研究成果発表会



城戸淳二塾を終えて

二年一組 原 田 脩 平（高島四中出身）

十二月十二日に、城戸淳二塾専門研究成果発表会が行われました。その会で私は、約半年に渡って、山形大学工学部の研究室で研究した内容について英語でプレゼンテーションを行いました。

私は配属された研究室で有機トランジスタ型バイオセンサの研究をさせていただきました。週に一度あるいは二度、研究室を訪れ実験をさせていただきました。その中で特に苦労したのが、英語のスライドや原稿を作る作業です。大学生や教授の力をお借りしながら、何とか発表を無事に終えることができました。

この体験を通して、英語力、プレゼン力を共に向上させることができました。最後に感謝申し上げます。最後になりましたが、このような機会を与えてくださった城戸先生や研究室の方々から感謝申し上げます。